

第56回 小学校学校行事研究全国大会 神奈川・横浜大会 <記録>

令和4年2月12日(土) 10:35～
横浜市教育会館・オンラインにて

1 開会の言葉

小学校学校行事研究全国大会 神奈川・横浜大会 実行副委員長
横浜市立あざみ野第一小学校 校長 山本 佐知子

新型コロナウイルス感染症拡大により、初めての誌面とオンラインでの開催となりました。

このような状況の中、皆様は、子供たちのために何ができるか考えて毎日実践していらっしゃると思います。その実践を皆さんと共有し、実りある会にしていきたいと思います。全国の先生方のご協力により、全国大会神奈川・横浜大会を開催できることを嬉しく思います。本日はよろしく願います。

2 会長挨拶

全国小学校学校行事研究会会長
八王子市立浅川小学校 校長 清水 弘美

第56回の全国大会が開催できることに感謝申し上げます。
この2年間は、学校の在り方を考えさせられました。今こそ、全国の学校で学校行事の重要性を認識し、今の学校にあったオリジナルの学校行事を創り上げていく必要があります。学校行事は、教科以外では学べないことを学ぶ大切な場です。教育は、不易と流行と言われますが、70年以上前から大切にされてきた学校行事は、不易のものと言えるでしょう。学校行事を次の時代に繋げ、新しい時代に進化させていきます。



今回は、参集できませんでしたが、全国の先生方がここにいらっしゃることをとても嬉しく思います。文部科学省、神奈川県学校行事研究会、多くの教育研究団体の皆様に感謝申し上げます。

3 講演 テーマ「主体的に学びを進め、自己実現や社会参画につながる学校行事の創造」

文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 安部 恭子 先生

今年度は、研究発表会を、中止や誌面発表だけにしている発表会も多い中、価値ある大会を準備していただきました。役員の皆様は、とても大変だったと思います。

学校行事での自己有用感、達成感や所属感、連帯感など、人との関わりによって学んでいきます。コロナ禍によって、学校行事を削減した学校が多かったと思います。しかし、コロナ禍だからこそ、学校行事の充実が必要です。自己有用感を高めるために、身に付けさせたい資質・能力を明確にすることが大切です。学校行事は、例年通り



でやっても意義のあるものになりません。楽しく豊かな学校行事によって、未来を育む実践力を育み、主体的に考えて、実践することが大切です。

コロナによって、先生方、学校が苦勞されました。そのような中、臨時休業明けに大切にされたこ

とは、学級づくりや児童同士の関わり合いです。日本型の学校教育は生活全てを指導しています。全人格的な発達を促しています。学級活動も（１）の充実も大切です。それがクラブ、委員会等につながり往還的な関係になります。

コロナ禍で行われた学校行事をいくつか紹介します。6年生が修学旅行から帰ってきた時の「おかえりなさいボード」です。下の学年の子たちの思いが黒板に書かれています。それが、他の学年にもつながっていく。中学校でも、市全体で中止になってしまった運動会を合同体育大会を行い、学校行事を作り上げました。自己有用感を高めていくことにつながりました。体験を通しての充実が欠かせません。コロナ禍の小中学校における集団宿泊的行事の調査が行われました。臨時休業明けの子供たちは、体力のない、眠そうな子が多い。学習意欲の低下、不安、イライラしている等の結果が出ました。集団宿泊行事後、メンタル面の課題改善が見られました。感染症対策をして、工夫してできることを学んだ。豊かな心、人間性を育むには、体験的活動がとても大切です。自然体験は、年々下がっています。自然体験をしている子ほど、自律性や協調性が高いです。自己肯定感は、年々上がっていますが、小学4年生から学年が上がると下がっています。自然体験がゆたかな子ほど、自己肯定感も高いです。道徳観や正義感も同様です。

学校行事の学びによって、他者と協働して、人間関係を自ら築き、なりたい自分に前向きになります。学校行事の実践を通して、学校のために、友達のために頑張っていきます。学校行事は、よりよい学校生活を築くことができます。しかし、学校行事の意義について理解させられていないことが多いのです。言い聞かせだけでは知識になりません。目標設定、課題を見だし、何のためにやるのかを考える必要があります。一連の活動を通じた学習過程が大事なのです。単なるイベントや、お楽しみになってはいけません。どんな資質・能力を身につけさせるのかを考える必要があります。

学びをつなげ、体験的活動を他者と協働して行うものとしなければなりません。働き方改革、コロナ禍によって教育活動の制限があり、学校行事の精選が言われています。これは精選であって、削減ではありません。学校行事は、大きな集団であることが特徴です。学校で計画し、実施しますが、子供が積極的、主体的に参加できるようにします。各教科では、容易に得られない体験活動です。しかし、大事だと言うことを伝えるだけでは、エビデンスが足りません。子供たちの姿や保護者からのコメントなどを保管し、伝えられるようにしましょう。地域行事ともつながり、統合的に発揮、発展させる体験活動にできます。主体的、対話的で深い学びの実現に向けて、学習過程を大事にします。次につなげる大切さ、振り返りを生かし、次のめあてを意思決定します。互いの頑張りに気づき、認め合っていけるようにしましょう。道徳的実践の重要な学習活動である特別活動として、振り返りをしっかり行い、自己の生活や生き方を振り返ります。その際、キャリア・パスポートを活用してほしいのです。

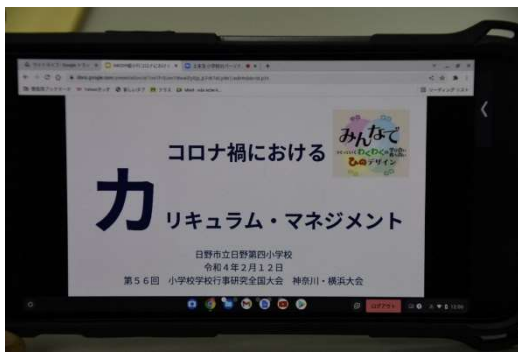
次に、学校行事の充実に向けてお話をします。マラソン大会を体育の授業として行うことがあります。「体育で育てたい力は何か。」「健康安全・体育的行事で育てたい力は何か。」を考えることが大切です。安易な時間削減にならないようにしましょう。今できるように内容を精選したことが大事であって、負担感から時間削減することではいけません。子供たちや学校の実態から、身に付けさせる資質・能力を明確にし、学校全体が共有します。

振り返りの場面では、振り返る時の視点を明確にし、もっと頑張りたいという気持ちにつなげるのが大切です。きちんと手立てを講じて指導します。各学校の年間指導計画を作成する上で、配慮しなければいけないことがあります。学校の創意工夫を生かし、学級や学校の実態を考慮します。児童による自主的・実践的な活動になるようにします。全教員で作成することも大切です。

学校行事の特質、大きな集団による集団活動であり、体験的な活動です。学校行事は、他の教育活動では容易に得られない教育的価値を実現する内容です。年間を通して、計画的に実施することによって、児童の学校生活にリズムを与え、節目を付け、より生き生きとした生活を実現します。他者と力を合わせて学校行事に取り組むこと。学校行事に他の教育活動における学習や経験などを総合的に取り入れ、その発展を図り、効果的に展開されるようにする必要があります。今こそ、特別活動を創意工夫して実践する必要があります。役割によって自己有用感の向上をさせましょう。将来に向けて自分らしい生き方の実現、学校の行事の充実によって、特色のある学校づくり、学校文化をつくっていきましょう。

4 実践提案オンライン発表（詳細は、研究紀要をご参照ください。）

実践提案① 第1分科会 東京都 日野市立日野第四小学校



実践提案② 第6分科会 横浜市 横浜市立あざみ野第一小学校



5 次会大会について

小学校学校行事研究全国大会 九州・熊本大会 実行委員長
熊本市立城西小学校 校長 松永 裕子

コロナ禍の状況を鑑み、次回、第57回全国小学校学校行事研究会全国大会 九州・熊本大会は、令和4年度から令和5年度開催に変更をお願いしました。

令和5年8月3日(木)・4日(金)に開催を予定しております。そのころには、全国の皆様が現地に参集して、対面で全国大会ができることを願っております。



6 謝辞

小学校学校行事研究全国大会 神奈川・横浜大会 実行委員長
横浜市立鴨志田緑小学校 校長 高橋 美都子

ご参加いただき、ありがとうございます。コロナ禍のため学校生活の中で制限が多く、特に学校行事は中止や削減を余儀なくされています。しかし、この状況だからこそ、学校行事の大切さや有効性がはっきりしてきました。本大会では、「主体的に学びを進め、自己実現や社会参画につながる学校行事の創造」とし、副題を「自己有用感を高める体験活動とその学びの過程」として研究を進めました。ご講演の安部先生からは多くのエールをいただきました。日野、横浜をはじめ、実践提案を提供してくださった学校、先生方に感謝いたします。開催にあたり多大なるご支援をいただきました皆様、誠にありがとうございました。



7 閉会の言葉

小学校学校行事研究全国大会 神奈川・横浜大会 実行副委員長
横浜市立矢部小学校 校長 山口 恭史

コロナ禍によって様々なことを変更せざるを得ない状況が続いています。しかし、研究を止めることは、子供たちの学びを止めることと考え、工夫を重ねながら研究を進めています。ご講演いただいた安部先生はじめ、提案していただいた先生方、ありがとうございます。さらに各地で実践を積み重ねてほしいと思います。ご参会の皆様、本日は誠にありがとうございました。